

卒業証書を受け取る西部小最後の卒業生たち



卒業おめでとう！

市内小中学校で卒業式

3月15日に市内中学校で、3月18日に市内小学校で卒業式が行われ、中学3年生217人と小学6年生215人に卒業証書が授与されました。

西部小では、13人が卒業式を迎え、保護者や先生方、来賓が見守るなか、太田春美校長から卒業証書を受け取りました。

太田校長は、「西部小139年の最後の卒業生として頑張って、たくさんの感動を与えてくれてありがとうございました。自分の夢に近づくことができるように行動してください」と言葉を贈りました。

卒業生は、「西部小は閉校になるけれど、『輝くひとみ、笑顔あふれる西部の子』の言葉を胸にこれからも頑張っていきます。ありがとう西部小、さようなら西部小」と、一緒に卒業となる西部小に別れを惜しみ、全員で心を込めて校歌を歌いました。

甘くてみずみずしいデコポンをどうぞ！

JAグループさが 市内小中学校に贈呈

JAグループさがが取り組む食育の一環として、県産かんきつ類を食べてもらおうと、3月7日、南部小学校でデコポンの贈呈式が行われ、代表の児童3人が贈呈を受けました。

贈られたデコポンは、市内小中学校10校の児童・生徒1,710人分で60kg。

佐賀県果樹研究部会の青木保文部会長が「一人でも多くのみなさんにおいしいデコポンを食べてほしい」と伝え、児童代表の今福優奈さんは「生産者のみなさんが大切に育てたおいしいデコポンをありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。

また、贈呈式のあとデコポンを試食した代表の児童らは「とてもみずみずしくておいしかったです」、「甘くて実が大きくとてもおいしかったです」と笑顔で答えていました。

贈呈されたデコポンは、3月13日に市内の小中学校の学校給食でおいしくいただきました。



▲甘みが口いっぱいに広がって思わず笑顔がこぼれる児童たち

信号機が設置されました

北多久町砂原・湯端地区の交差点に、新しい信号機が設置されました。数年前に交通死亡事故が発生し、地元からの要望もあり、県警・県公安委員会の協議が整い、実現したものです。富永邦久区長は、「長い間要望していた信号機を設置してもらって良かった」と喜んでいました。

小城警察署の山崎交通係長は、「この交差点には歩行者・車両分離式信号機を設置しています。歩行者の方は押しボタンを押して青になるのを確認して渡ってください」と話し、現地で子どもたちへの指導を行いました。



3/15

発掘ミニ企画展「多久の窯跡」

「多久の窯跡：肥前磁器の源流と多久唐津焼の世界」と題して、市内に残る肥前陶磁器の窯跡や、陶器片など代表的な資料を写真や現品で紹介するミニ企画展が市役所1階市民ホールにて開催されました。

16世紀に多久に渡来した韓人陶工が最初に築いたとされる唐人古場窯跡や高麗谷古窯跡から出土した多久唐津焼などの陶器片を展示し、来場者のみなさんは足を止めて熱心に観賞していました。



3/12 ~

3/21